

広報 まつのやま

199311月号 (No213)



千両役者が揃った上川手歌舞伎「白浪五人男」(芸能祭)



ゴールが近づくと激しいデッドヒートが演じられました
 (健康マラソン)

▲▲▲▲ 今月号の話題 ▲▲▲▲

農業祭・芸能祭・美術展	2～4
駅伝大会	6
老人保健福祉計画調査結果	7
克雪住宅補助制度	8
松之山治山事業所30周年	9
10月のフォトニュース	10・11
集落探訪(湯之島)	12
公民館だより	14・15

農業祭・芸能祭・美術展



婦人会と子供たちによるエアロビクス

- 101 -

十月三十一日、農業祭・芸能祭が開催され、大勢の人出でにぎわいました。

午前九時から各種即売・各展示場が一斉にオープンし、特に野菜の即売コーナーは人気が高く長い行列ができていました。

天候不順による野菜の高値が続いていますが、市価よりも安い地元産の新鮮な野菜は次々に売切れてしまいました。

来場する人々を「ドン」という大きな音で歓迎するポン菓子は子供たちに人気があり、担当していた青年団の皆さんは汗を流しながら頑張っていました。センター前の広場では味噌の試食即売、ライオンズクラブの皆さんによるチャリティーバザー、ジャンボカボチャの展示などが行われました。

ジャンボカボチャコンテストには二十三点が出品され、ジャンボ賞には水梨の相沢良三さんが育てた一〇三kgのカボチャが選ばれました。

町民体育館横では錦鯉の展示即売が行われ、優雅に泳ぐ錦鯉や大きな食用鰻に歓声があがっていました。

鏡割りはセンター玄関で十時から行われ、手打ちそばなどの

試食は十一時から始まりました。センター二階の「わが家の味自慢コーナー」には三十三点の出品があり、試食品がなくなると思本料理まで食べていました。

三十日から開催されている美術展にも多くの方が訪れ、絵画・書道・写真・俳句・生花などを心行くまで鑑賞していました。

芸能祭は町民体育館で行われ、町内の芸達者の皆さんが日頃の芸を披露し、会場から盛んな拍手を受けていました。

松之山中学校の創作郷土伝承劇「湯山甚句ものがたり」は、湯山甚句と松山鏡をミックスしたもので、鏡を見たことがない夫婦が引き起す喜劇になっていた。

試食品がアッという間になくなった
わが家の味自慢コーナー



上川手歌舞伎の「白浪五人男 稲瀬川勢揃の場」は、村歌舞伎とは思えないほど上手で、見得を切る場面では観客から大きな声援が送られました。

婦人会と子供たちによるエアロビクスにはおひねりがたくさん上がり、曲が終ると子供たちは先を争って拾っていました。また、アツペンポのリズムにつられて、舞台下でいっしょに踊っている人もいました。

山村留学生による山留太鼓は、勇壮な太鼓の音が腹の底まで響きました。

体育館の壁には、保育所園児や小・中学生の絵などが展示され、我が子の作品を見つけて喜ぶ親の姿も見られました。



松之山中学校の劇「湯山甚句ものがたり」



腹の底まで響いてきた山笛太鼓



絵画や書道には子供たちもたくさん出品しました



優雅に泳ぐ錦鯉に見入っていました



100kgを超えるカボチャに驚いていました

▼近いて賞
四八kg 佐藤輝國・福原敦志・

小野塚新作(東川)

福原高志(天水越)

▼ビタリ賞(四九kg)

は粗品が贈られました。

ビタリ賞・近いて賞の方々に

いうのもありました。

また、応募者の答えて最軽量

は三一kg、重量は一〇三kgと

いうのもありました。

また、応募者の答えて最軽量

は三一kg、重量は一〇三kgと

いうのもありました。

また、応募者の答えて最軽量

は三一kg、重量は一〇三kgと

いうのもありました。

また、応募者の答えて最軽量

は三一kg、重量は一〇三kgと

いうのもありました。

また、応募者の答えて最軽量

は三一kg、重量は一〇三kgと

ジャンボカボチャ重量当てクイズ

佐藤礼子(天水越)

小野塚健吉(東川)

佐藤利昭(天水越)

重野りえ子(上瀬池)

また、ジャンボカボチャコン

テストの結果は次のとおりです。

◎ジャンボ賞

相沢良三(水梨) 一〇三kg

◎金賞

小野塚実(藤倉) 六六kg

◎銀賞

安高松之山分校 六三kg

◎銅賞

小野塚武彦(天水越) 五八kg

村山幸子(湯本) 五五kg

倉重徳二郎(曾根) 五四kg

天候に負けた良質米共励会

松之山町良質米生産推進共励会の表彰式が、芸能祭の冒頭に行われました。

今年の共励会には四十八名が参加し、良質米作りの腕を競い合いましたが、低温と長雨の影響を受けて、共励会史上最低の成績となりました。

最優秀賞と比較すると昨年は六九六kg、今年は五七三kgと約

二俵も落ちてしまいました。また、昨年の平均収量は五五〇kg、今年は四二六kgと大幅な減収です。

さらに、標高五〇〇m以上の作柄は悪く、収穫皆無という出品もありました。

このような悪条件を克服して今回入賞された方は、健苗の育成、適切な施肥、水管理による

根の活力維持、有効な病害虫防除などの基本技術を正確に実行し、地域にあった栽培方法で優秀な成績を上げられました。

なお、優良賞以上の方の成績は別表をご覧ください。

また、第十回を記念して特別功労賞・特別技術賞が九名の方に贈られました。

第10回記念特別賞受賞者

- ▼特別功労賞(連続十回出品)
- 樋口藤夫(鬼口)
 - 相沢春義(松之山)
 - 相沢良三(水梨)
 - 小野塚哲男(天水島)
 - 丸山嘉幸(東川)
 - 竹内 清(坂中)
- ▼特別技術賞
- (五回以上の出品の平均が、十産に頑張ってください。)
- 村山邦一(上川手)
 - 五回の平均収量六〇四kg
- a 当り六〇〇kgを超える方)
- 浦井正二(五十子平)
 - 五回の平均収量六三五kg
 - 樋口健一(湯山)
 - 八回の平均収量六三〇kg

優雅な錦鯉品評会

農業祭前日の三十日、町民体育館横の駐車場で第二十五回錦鯉品評会が開催されました。

今年の品評会には十七名の方が一八尾を出品され、各部門ごとに審査が行われました。

三十一日の農業祭には大勢の方が訪れ、優雅に泳ぐ錦鯉に見入っていました。

また、お互いに批評しあったり、飼育のコツなどを出品者から聞いていました。

各部門の入賞者は次のとおりです。

▼総合優勝

樋口幸雄(湯山)「三色」

▼総合準優勝

山岸敬三郎(新山)「紅白」

▼各部優勝

- 一部(一八cm未満) 久保田寿栄(曾根)「紅白」
- 二部(二八cm未満) 高橋平八郎(中尾)「紅白」
- 三部(三五cm未満) 山岸敬三郎「紅白」
- 四部(四五cm未満) 高橋平八郎「紅白」
- 五部(四五cm以上) 高橋平八郎「紅白」



異常気象を克服して優秀な成績を上げた表彰者の皆さん

第10回松之山町良質米生産推進共励会成績

入賞順位	出品者 住所氏名	品 種 名	10a当り 精玄米収量	10a当り 米代金
最優秀賞	藤 倉 若月三太郎	コシヒカリ	573kg	238,311円
優 秀 賞	湯 山 小野塚スミ	〃	567	235,815
〃	水 梨 相沢 良三	〃	565	234,984
〃	東 川 小野塚徳一	〃	565	234,984
〃	松之山 相沢 春義	〃	563	234,152
優 良 賞	光 間 田辺 ノブ	〃	550	228,745
〃	東 川 丸山 嘉幸	〃	547	227,497
〃	上川手 上之山農園	〃	543	225,834
〃	中 尾 樋口 栄八	〃	540	224,586
〃	下川手 志賀 永吉	〃	526	218,763
〃	水 梨 中島 徹	〃	507	210,861
〃	下鰐池 重野 雄城	〃	505	210,030
〃	小 谷 相沢 一郎	〃	504	209,614

異常気象で戦後最悪の凶作 松之山町の作況指数 64

9/8 異常気象対策本部設置

長雨による低湿と日照不足で、稲作は戦後最悪の被害を受けることが確実になりました。

町では、標高別に各地の水田の不稔粒（種子で実らないもの）を調査し、九月二十四日現在の作況指数を六四・三％と推定しました。

特に標高五〇〇m以上の被害は甚大で、収穫皆無という水田が多数発生しました。

このため、町では九月八日に異常気象対策本部を設置し、次

の業務を進めていくことになりました。

- ① 農作物の被害状況の把握
- ② 農作物の技術対策
- ③ 関係機関との連絡調整
- ④ 来年度の水稲種子の確保対策
- ⑤ 水稲共済金の早期支払い要請と低利融資の斡旋
- ⑥ その他必要な事項

なお、対策本部事務局は役場の産業課農林係に設置されていますので、困ったことがありますら相談してください。



実の入らない青立ち稲を悲痛な表情で刈取っていました
(田麦立地内)

標高別作付面積・減収量見込み

平成5年9月24日現在

標高別	作付面積	減収割合	減収量
400m以下	288ha	20%	238 t
400 ～ 450	47	30	58
450 ～ 500	59	50	122
500 ～ 550	30	70	87
550m以上	48	96	190
計	472		695

◎推定作況

$$\frac{(\text{平年収量 } 1,949 \text{ t} - \text{減収量 } 695 \text{ t})}{\text{平年収量 } 1,949 \text{ t}} = 64.3\%$$



標高 600 m以上の稲はほとんど青立ち稲でした（田麦立地内）

松里Aチーム駅伝12連覇

十月十日の体育の日に第十二回松之山町駅伝大会が行われ、各地区代表の七チームが健脚を競いました。

青空が広がった午前九時、合図とともに第一走者が旧浦田中学校前をスタートし、三区中継点までは松之山Aチームが一步リードしました。

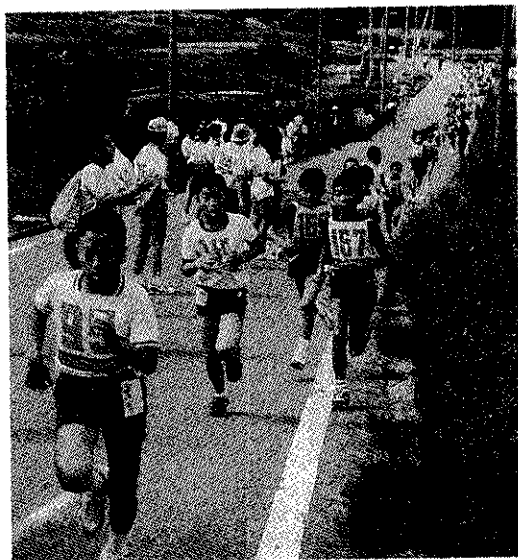
しかし、実力に勝る松里Aチームが四区から後続をぐんぐん引離し、二位の松之山Aチームに四分近い大差をつけて余裕のゴールをしました。

また、沿道には応援の方が大勢詰め掛け、力走する選手たちに声援を送っていました。

駅伝終了と同時に行われた健康マラソンには三四六名が参加し、家族や友達同士で気持ち良い汗を流していました。

駅伝の成績は次のとおりです。

▼総合成績		時間・分・秒
一位	松里A	1・31・02
二位	松之山A	1・34・41
三位	布川	1・35・32
四位	浦田A	1・35・37
五位	松里B	1・41・16



家族や友達同士で気持ち良い汗を流しました

六位	松之山B	1・45・15
七位	浦田B	1・47・15
▼区間賞		
一区	高橋千春(松之山A)	◎7・01
二区	志賀浩二(〃)	◎6・59
三区	村山亮(松里A)	6・38
四区	高橋政信(〃)	6・59
五区	高橋佳代(〃)	4・28
六区	島田昂(〃)	4・26
七区	高橋一行(〃)	2・55
八区	松沢隆幸(松之山A)	5・27
九区	滝沢大(松里A)	◎7・38
十区	小野塚真紀(布川)	◎9・45
十一区	高波大志(松之山A)	8・03
十二区	村山幸夫(布川)	8・22
十三区	高橋茂雄(松里A)	8・55
十四区	竹内雅子(浦田A)	6・03

◎：新記録
また、次の方が特別賞を受賞しました。
◎村山幸夫(坪野)
……三年連続区間賞及び通算十回の区間賞
◎高橋茂雄(天水島)
……三年連続区間賞
◎高橋一行・佳男・佳代(天水島)
◎佐藤圭一・俊之・邦洋(北浦田)
……一家族三名以上出場

堺松中継点で同時にタスキを渡す松之山Bチームと浦田Bチーム

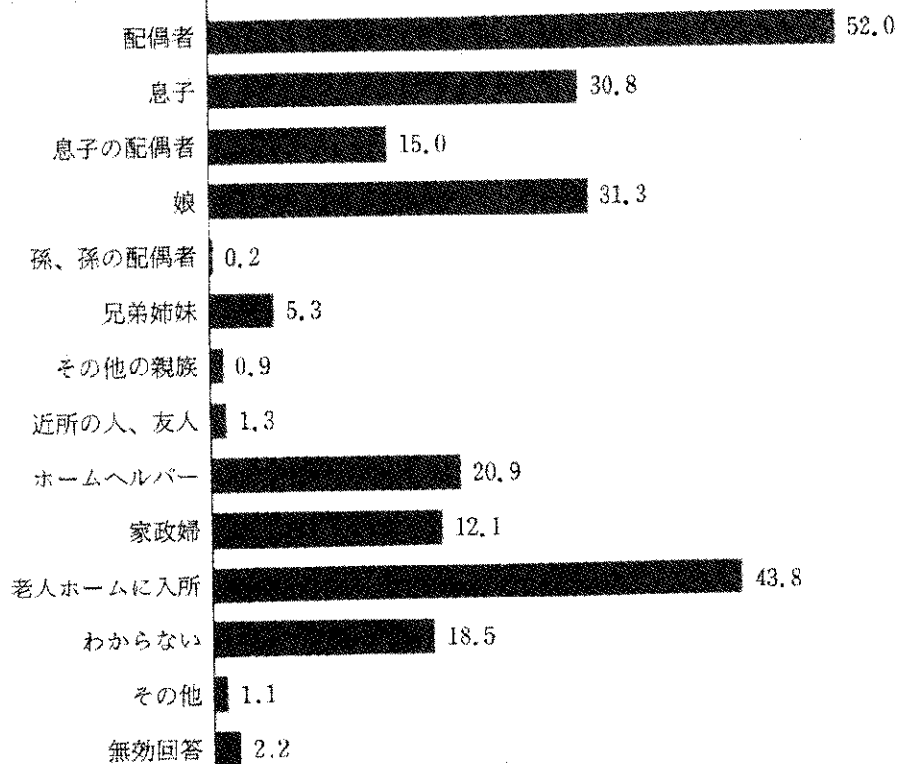


地元の熱い声援を受けてタスキをリレーする布川チーム(東川中継点)



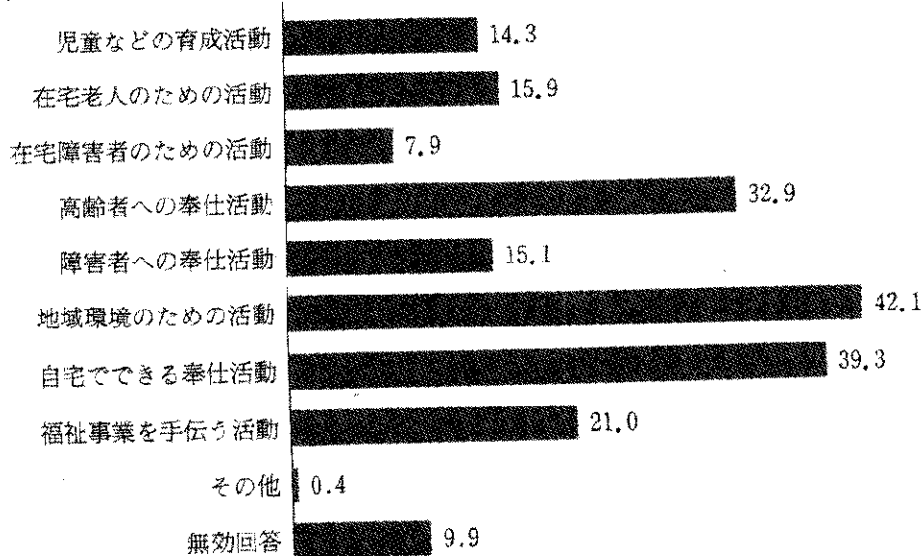
老人保健福祉計画調査結果から（40歳～50歳）

問1、あなたが老後だれかの世話を受けなければならないときは、どなたの世話を受けたと思いますか。



「配偶者」と答えた人が52.0%で最も多いが、「老人ホームに入所」も43.8%いる。これ以外では「息子」、「娘」がそれぞれ3割となっていて、全体では身内の占める割合が多くなっている。

問2、あなたは、どのようなボランティア活動をしたいと思いますか。



「地域の環境をよくするための活動」と答えた人が42.1%で最も多く、次いで「自宅でできる奉仕活動」の39.3%、「老人ホームなどの施設に入っている高齢者への慰問などの奉仕活動」の32.9%となっていて、これらが高い割合を示している。

克雪住宅普及のための 補助制度をご利用ください

雪国の苦労は、何と言っても屋根雪処理の問題です。その苦労がいらぬ克雪住宅の普及を図るための補助制度を紹介します。この制度で補助金を受けるには、住宅の建築前にその認定を受ける必要があります。

制度の利用を希望される方は、役場の建設課へご相談ください。

▼対象になる住宅

専用住宅および住宅に供する部分の床面積が五〇％を超える併用住宅。

▼対象者

町内に居住し、克雪住宅（下図参照）を新築・増改築・改良および購入される方。

▼補助の範囲

補助の対象は、克雪に係る工事費の二五〇万円を限度とし、補助率は対象工事費の一七・六％（補助金の最高限度額は四四万円）となります。

▼補助金の申請

この補助金を利用される方は、工事の着手前に交付認定申請書の提出が必要です。

また、工事が完了したときは実績報告書を提出していただきます。

▼問い合わせ先

くわしくは、役場の建設課建設係へお問い合わせください。

（☎六三三三）

◎今後、住宅の新築等を計画されている方は、ぜひこの制度をご利用ください。



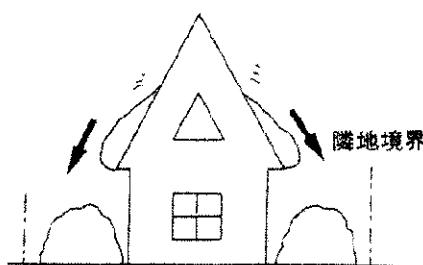
町営住宅の隣にある教員住宅「ぶなの木荘」
高床式と落雪式を併用しており、今後このような住宅が増えるかもしれません。

高床式



床下が非木造で
床高が1m以上の
住宅

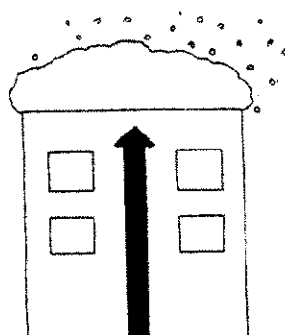
落雪式



隣地境界

金属板等滑雪能力のある材料を使用した屋根構造で雪を自然に滑落させる屋根勾配をもった住宅で道路や水路、隣接者に迷惑をかけない住宅

耐雪式



非木造で3.7m以上の積雪に耐える住宅で、雪びの発生が防止できる住宅

融雪式



屋根の上で融雪できる施設を備えた住宅

対象となる克雪住宅

松之山治山事業所30周年

十月十三日墨田ホテルで、高田宮林署松之山治山事業所開所三十周年記念式典が行われました。

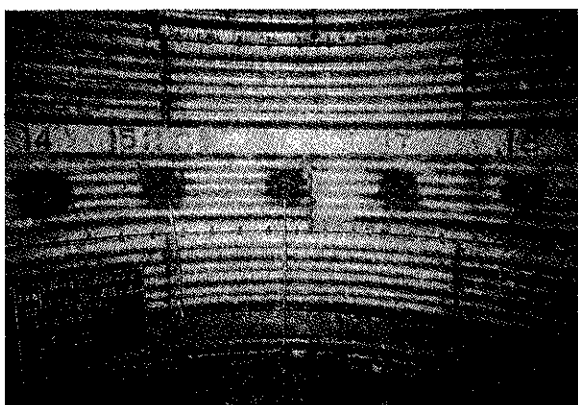
同事業所は、昭和三十八年に地すべり防止法の制定にもとづき、また、たびたびの地すべりで大きな被害を受けていた地元の要請を受けて、前橋宮林局が開設したものです。

直轄指定地区としては、昭和三十九年に天水島と湯山地区、同四十四年に音沢地区、同六十年に上鰐池地区、そして今年上鰐池追加地区がそれぞれ指定

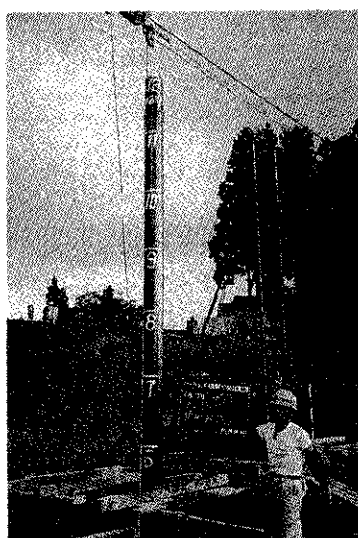
されています。

その間、昭和四十二年に高田宮林署に治山課が設置されたのを機に、同事業所の実行形態は局実行から署実行となり、また、同五十八年には湯山地区が概成のため県に移管となり現在に至っています。

地すべり災害に対しては、地すべり地質調査等の結果にもとづき、人家に直接被害を及ぼす箇所を最優先に地すべり防止工事を行ってきました。工種工法としては、コンクリート堰堤、鋼製桙谷止工、フト



上鰐池地区の集水井戸内部



天水島地区での鋼管杭打工

ン龍工、ライナープレート集水井工、横孔ボーリング排水工、水路工、鋼管杭打工等を主として施工し、この三十年間に松之山町に投入された工事費の合計は約二十七億円となっています。また、開所以来今まで大きな災害もなく、順調に地すべり防止工事が行われ、林地・農耕地・人家・公共施設等の保全が図られてきました。

今後とも地すべり防止工事を継続して行いますので、皆さんのご理解とご協力をお願いします。

直轄地すべり防止地区別一覧表

地区名	天水島	音沢	上鰐池	上鰐池追加	湯山	計
直轄指定日	昭39・5・18	昭44・3・26	昭61・3・3	平5・3・25	昭39・5・18	—
指定面積(ha)	266.27	272.36	304.38	446.97	181.35	1,471.33
内 山林(ha)	129.37	80.50	200.57	294.55	67.70	772.69
田畑(ha)	117.48	141.99	41.87	8.70	55.50	365.54
訳 その他(ha)	19.42	49.87	61.94	143.72	58.15	333.10
工事費計(百万円)	1,054	985	295	0	314	2,648

◎湯山地区は、昭和58年10月7日付で新潟県に管理を移管した。

◎工事費は、工事着工時から平成5年度見込み額までを含む。

にぎやかに安吾まつり

十月十七日、安吾碑およびおふくろ館で安吾まつりが行われました。

今年には新潟安吾の会から二十名が参加し、松之山の皆さんとにぎやかに交歓しました。

午前十一時、安吾碑の前には熱心な安吾ファンが集まり、笛詩人のオマタツロウさんの幻想的な縄文笛やリュートの演奏を聞きました。

また、オマタさんの演奏をバックに、新潟東高校の若月忠信先生が安吾の亡くなった場面を

朗読しました。

安吾が好んだ酒が安吾碑にそそがれたあと、参加者はおふくろ館に移動し、村山町長・若月先生・新潟安吾の会代表の齊藤正行さんが語る安吾像を興味深く聞いていました。

昼食はおふくろ館自慢の手打ちそばで、何杯もおかわりをする人がいました。

安吾の作品には松之山をモデルにして書いたと思われる「黒谷村」などがありますので、皆さんも読んでみてください。



取ってきたきのこを種類ごとに分けました

2 豊富な種類／きのこ狩り大会

十月十日と十七日、紅葉真っ盛りの大蔵寺高原できのこ狩り大会が行われ、定員いっぱい二四〇名が参加しました。

二日とも天候に恵まれ、参加者は受付もそこそこの山の中へ入って行きました。

何回か参加している人は、きのこの生えている場所を知っており、短かい時間でもたくさんきのこを取っていました。

取ってきたきのこは、日本菌学会々員の松之山の滝沢博さんと大島村の早川幸一さんが鑑定し、食用・無毒・毒の三種類に分けてくれました。

今回確認できたきのこの種類は一一種類で、猛毒のドクササゴ・ドクツルタケも何本かありました。

また、コウジタケ・ナギナタタケ・ノボリリュウタケ・ミミ

ブサタケなど、新たに二十九種類が確認されました。

鑑定が終わると希望館できのこ料理の昼食に舌鼓を打ち、早川さんからきのこの取り方と見分け方、滝沢さんから保存方法や料理方法を教えてもらいました。早川さんは「見たことのないきのこは安易に食べないなど、食中毒予防のポイントをくわしく話してくれました。



安吾碑の前で2本のリコーダー（縦笛）を同時に演奏したオマタさん

3 秋を満喫！もみじマラソン

きのこ狩り大会と同じ十月十七日、大蔵寺高原からマントパークまでの第三回もみじマラソンが行われました。

午前十時三十分、管理棟前をスタートした十五キロコースには男女四十名が参加し、見ごろとなった紅葉を楽しみながらゴールをめざしました。

また、沿道から送られる声援に、手を振って答えている選手もいました。

4 親子で渡り鳥の観察



鳴き声を頼りに鳥を探しました

毎月一回開催されている親子自然体験教室は好評で、十月は十七日に深坂峠で渡り鳥の観察をしました。

当日は雨雲が低くたれこめ、渡り鳥はなかなか見つかりませんでした。子供たちは一羽でも多く見つけようと双眼鏡であちこち探していました。

今回の観察で確認できた鳥はメジロ・ヒガラ・アトリ・アカゲラなどで、ヒヨドリは集団で南へ渡っていきました。

また、昼にはきのこの汁が出され、大きなおむすびといっしょにおいしいそうに食べていました。

5 太鼓で良い汗を！

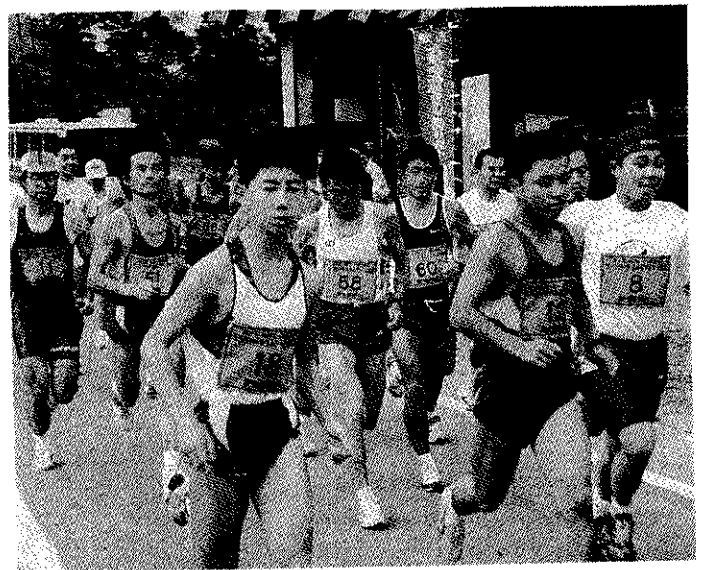
今年、日本生命財団から松之山太鼓会（会長・青木高志山留指導員）に太鼓二台が寄贈されました。

天水島や浦田の若妻会及び山村留学生などが、この太鼓を使って定期的に練習しています。若妻会の皆さんは、忙しい生

活の中で太鼓をたたくときが一番楽しいと語ってくれました。

また、十月三十一日に開催された芸能祭では、山村留学生の皆さんが見事な山留太鼓を披露しました。

勢い良く飛び出した選手たち



寄贈された太鼓で練習をする天水島の若妻会の皆さん

集落探訪

湯之島

歴史と地名

町の西部に位置し、江戸時代は東浦田村に属していた。

地名の由来は不明だが、中立山から続く狭い峡谷を流れ下った波海川が湯之島付近で広くなり、氾濫によってできた中之島がいくつかあったと思われる。

その中之島で温泉（鉱泉）が出ていたことから、湯之島と名付けられたのかもしれない。

また、浦田地区コミュニティセンター（旧浦田中学校）の近くに湯田の鉱泉がある。

天和三（一六六三）年の検地帳には、「湯田」「湯ノ出口」という小字名が記載されており、

湯之島が湯の出る地域として古くから知られていたと思われる。

現在、湯田の鉱泉はコミュニティセンターと民宿ゆのしまで使用されている。

昭和十二年、集落中央に湯之島クラブ（集会所）が完成し、同二十六年には字番屋で石油の

試掘が行われた。

昭和五十六年から五十九年までミニ総バ事業が行われ、約九haの田が整備された。

大蔵寺と常照寺

大蔵寺（浄土真宗大谷派）は元禄十七（一七〇四）年三月、釈好縁によって開山された。

大蔵寺の寺号について次のような言い伝えがある。

「現在の大蔵寺高原に、鎌倉中期より十九代続いた真言宗大蔵寺があった。元禄十七年、廃寺になっていた大蔵寺を現在地に移転し、開山好縁法師が真宗大谷派大蔵寺と改宗した。」

現在の本堂は、文化六（一八〇九）年十一月に完成したもので、棟札には棟梁や世話人の氏名が記されている。

また、昭和三十七年から五十五年まで浦田僻地（季節）保育園が開設されていた。

常照寺（浄土真宗高田派）は大正十二（一九二三）年、丸林

集蔵によって移転創立された。

常照寺は、昭和二十一年五月まで常照院と称していた。

常照院は高田派本山専修寺の山内にあった寺で、大正十年丸林集蔵が住職に就任した。

大正十二年に湯之島への移転再建が許可され、町内で二番目の浄土真宗寺院が誕生した。

岩見堂

大松山の南西約一・五kmに、水成岩でできている巨大な岩がある。

湯之島に向かって突き出た岩

は約一〇〇mの断崖絶壁となっており、岩の中腹の空洞には石祠が安置されている。

この石祠は富士山の浅間神社を分祠したもので、天保（一八三〇）（四四）の頃、湯之島の山岸常平こと富山常栄という修験者が建立した。

また、岩見堂はその奇岩ぶりから靈験あらたかな霊場として、古くから修験者や僧侶の修行の場となっていたと思われる。

頂上からの眺望は素晴らしく、日本海・越後三山・菱ヶ岳などが一望できる。

浦田中学校

昭和二十二年四月学校教育法が施行され、義務教育年限が九年に延長された。

新学制により国民学校は小学校と改称され、前期中等教育を担う新制中学校が設立されることになった。

しかし、敗戦により国民生活が逼迫しているなかでの校舎の新築は困難であった。

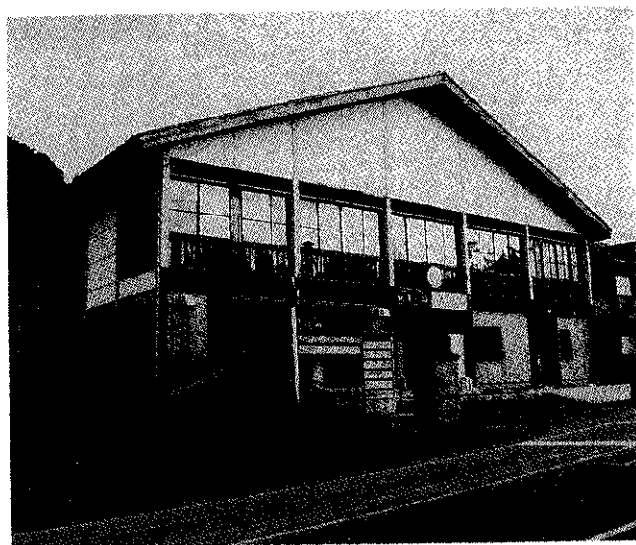
浦田村では新制中学校を小学校に併設することにし、同年五月一日開校した。

その後、小学校と同居という狭隘な校舎事情を解消するため、独立校舎の建設が取り上げられ検討されたが、校舎の位置がなかなか決まらなかった。

昭和三十五年、現在地に本校舎、翌三十六年には体育館が竣工し、ようやく小学校との同居が解消された。

昭和三十年代から始まった高度経済成長は過疎化を進行させ、生徒数は減少の一途をたどり、平成三年三月浦田中学校は閉校となった。

なお、現在は浦田地区コミュニティセンターとして利用されている。



浦田地区コミュニティセンターとして利用されている旧浦田中学校

知っておきたい年金知識

こんなとき、こんな年金が受けられます

- 国民年金の給付には、①老齢、②障害、③遺族の三つの基礎年金と、第一号被保険者（自営業者・学生など）に対し独自に給付される、④付加年金、⑤寡婦年金、⑥死亡一時金があります。
- ①老後の安定した生活を支える「老齢基礎年金」
保険料を納めた期間（保険料免除期間を含む）が原則として二十五年以上ある人が、六十五歳になったときに受けられる年金です。
- ②障害を負ったときに「障害基礎年金」
国民年金加入中に、病気やケガで障害者（一級または二級）になったときに受けられる年金です。
- ③働き手が亡くなったときに「遺族基礎年金」
国民年金に加入している人や、老齢基礎年金の資格期間を満たした人が死亡したときに、一定の要件を満たした子のある妻または子に支給される年金です。
- ④付加年金



付加保険料を納めた人が老齢基礎年金を受けるとき、それに加算して支給されます。

⑤寡婦年金
老齢基礎年金の資格期間を満たした夫が年金を受けないで死亡したときに、その妻に六十歳から六十五歳までの間支給されます。

⑥死亡一時金
保険料を三年以上納めた人が亡くなったときに、その遺族に支給されます。

ただし、遺族基礎年金を受けられる場合は支給されません。くわしくは、役場の国民年金係へお問い合わせください。

合併処理浄化槽ってなんですか

浄化槽のうち、し尿だけを処理する浄化槽は「単独処理浄化槽」といい、し尿と生活雑排水（台所等の排水）を併せて処理する浄化槽を「合併処理浄化槽」といいます。

これまで、合併処理浄化槽は主に大型のものでしたが、近年各家庭ごとに設置できる、小型で高性能の合併処理浄化槽が開発・実用化され普及してきています。

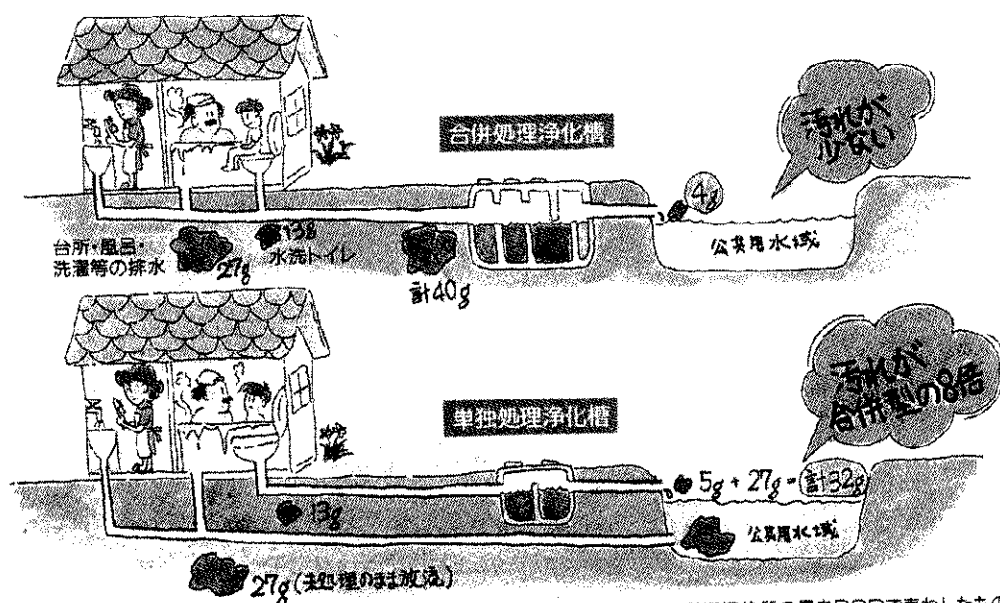
この合併処理浄化槽の性能はBOD除去率が90%以上、処理水質は下水道の終末処理施設と同等です。

し尿と生活雑排水を合わせた生活排水の汚れは、一人一日当りBOD量にして40gです。

除去率は90%以上ですから、処理水のBODは4g以下と非常にきれいになります。

単独処理浄化槽の場合は、し尿のBODが5gになりますが、雑排水のBOD二七gはそのまま放流されてしまいます。

合併処理浄化槽についてくわしく知りたい方は、役場の保健衛生係へお問い合わせください。



※数値は、1人が1日出す水質汚濁物質の量をBODで表わしたものです

公民館 だより

公民館 ☎ 6-2265

文化情報

町長杯バレーボール大会

十月十五日から十七日まで、大島村公民館で第十二回東頸城郡美術展覧会が開催されました。入賞者で特に注目を集めたのは、松之山の佐藤君子さんと龍治くんの二年連続郡展賞ダブル受賞でした。

また、龍治くんは日本の書道展最高峰の、第九回日本武道館書写書道展で高門賞を受賞したり、全日本青少年書道展で文

郡美術展で一年連続親子で郡展賞受賞

部大臣賞を受賞するなど大活躍しています。

▼松之山町関係郡美術展入賞者

▼絵画部門《郡展賞》

松之山 佐藤君子「遠い日」

▼書道部門

《郡展賞》

松之山 佐藤龍治

「孫秋生劉起租二百人等造象記」

《奨励賞》

松之山 田辺真理「李白詩」

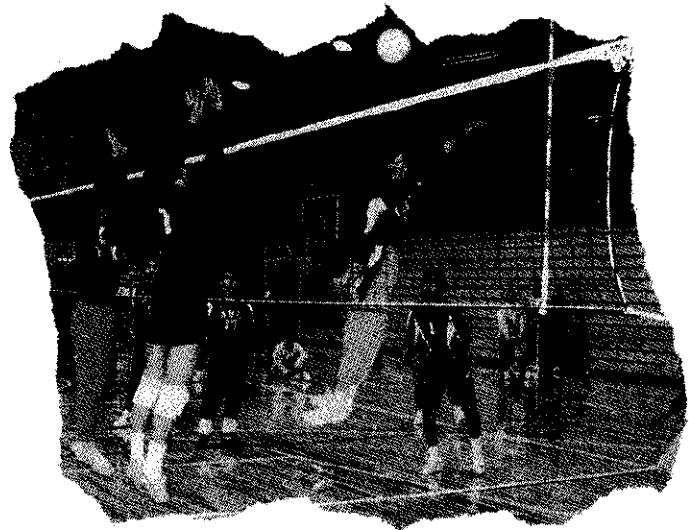
十月二十六日と二十七日の夜、町民体育館で第十四回町長杯バレーボール大会が行われました。大会には八チームが参加し、そのうちの三チームは若さあふれる高校生チームでした。

また、松代町からも三チーム参加し、もう少しで優勝杯を持つていかれるところでした。

試合は、体力に自信がある高校生チームが強烈なスパイクを連発しましたが、技とうまさの青年チームにあと一歩及びませんでした。

成績は次のとおりです。

一位 昇勢会 A
二位 松代 V B C
三位 昇勢会 B



強烈なスパイクが次々に決まりました

郡ゲートボール大会

十月六日浦川原村公民館広場で、第七回東頸城郡ゲートボール選手権大会が行われました。松之山町からは、町の大会で上位入賞した六チームが参加しました。

結果は、予選ブロックを勝ち上がった三チームが決勝トーナメントに進みましたが、惜しくも一回戦で敗れてしまいました。また、九月二日新潟市で開催された、交通安全ゲートボール県大会に出場した川手チームは、わずかな得失点差でブロック二位となり、決勝トーナメントに進出できませんでした。

公民館図書をご利用ください

公民館では、町民の皆さんから気軽に本を読んでいただくため、自然休養村センター一階のロビーに本棚を設置しました。新刊書コーナーや絵本などもありますので、ぜひご利用ください。

なお、貸出し冊数は一人五冊以内で、貸出し期間は二週間です。

資料館閉館のお知らせ

松之山町歴史民俗資料館は11月24日(水)から冬期休館となります。

したがって、保坂玉泉展は11月23日で終了しますので早目にご覧ください。

婦人会コーナー

農業祭にご協力いただきありがとうございました

紅葉も見頃な十月三十一日、松之山町をあげての農業祭・芸能祭がにぎやかに行われました。松之山町の婦人が一番町に協力できるイベントですので、皆さんとても気持ち良く一生懸命頑張ってくれました。

松里地区・上布川地区の皆さんが用意した、三三〇食の手打ちソバの味はいかがでしたか。

このソバは、婦人会役員が前日から中学校の寄宿舎を借りて作ったもので、佐藤民子さん、小野塚賢子さん、佐藤カズエさんから指導していただき、二斗五升のソバ粉を練り上げたものです。

七五〇食ものコシヒカリのおにぎりは、松之山・三省・下布川地区の皆さんから作っていた

いただきました。

また、寄宿舎の二人のおばさんからは、泊り込みで六斗のごはんを炊いていただきました。

つきたてのモチは浦田地区と農業委員の皆さんが担当で、今年「わたぼうし」という品種だそうです。

食べてみられた方、味はいかがだったでしょうか。

モチも六斗で、七〇〇食できました。

売店のアンボや豚汁も好評で、アツという間に完売することができました。

アンボ作りは小野塚光枝さんから指導していただき、皆さんがすでに持っている技術とあわせて、大変おいしいアンボがたくさんできました。

わが家の味自慢コーナーには三十三点の出品があり、どの料理もすばらしい味でした。

農作業や冬仕度で忙しいなか、ご協力くださいました皆さんに心からお礼申し上げます。



毎年好評なアンボはすぐに売切れてしまいます

各種駅伝大会で活躍

郡中学校駅伝で女子チーム優勝

第三十回（女子第七回）郡中学校駅伝大会が九月二十九日行われ、女子は松之山Aチームが大会新記録で優勝し、男子も松之山Aチームが二位と健闘しました。

男子は十二チームが参加し、県立松代病院前から安塚中学校前までの九区間、女子は十チームが参加し、大島村役場から安

塚中学校前までの四区間を走りました。

成績は次のとおりです。

▼男子成績 時間・分・秒

二位 松之山A 1・47・19

四位 松之山B 1・53・31

九位 松之山C 1・59・17

▼女子成績

優勝 松之山A 1・00・52

五位 松之山B 1・05・30

上越地区中学校駅伝大会

十月二十六日、上越地区中学校駅伝大会が行われ、男子は三十七チーム、女子は三十五チームが参加しました。

大会当日は、時より風雨の強くなるあいにくの天候でしたが、選手の皆様、上位を目指して頑張ってください。

県縦断駅伝に松之山から三名出場

十月二十三日・二十四日に行われた都市対抗県縦断駅伝大会に、松之山中学校の小林辰男先生、松里小学校の若木直弘先生、下鰐池の鈴木昭男さんの三名が出場し、東頸城チームの一員として頑張りました。

東頸城チームの成績は、総合で三十七チーム中二十一位でしたが、選手不足を補うため一人で二区間走る人がいたことを考えれば大健闘でした。

選手の皆様、大変お疲れさまでした。

検察審査会を知っていますか

皆さんの周囲で、交通事故、詐欺、おどしなどの被害にあつて警察や検察庁に訴えたが、その事件を裁判にかけてくれない（これを「不起訴処分」といいます）ので、どうも納得できない、こんな不満をお持ちの方はいませんか。

泣き寝入りしないで、検察審査会事務局に遠慮なくご相談ください。

検察審査会には、選挙権を有する国民の中から「くじ」で選ばれた十一人の審査員が国民を代表し、住民として健全な良識に

従つて、検察官の不起訴処分を調べなおしてくれる民主的な国の機関です。

審査の申立てには費用は一切かかりませんので、気軽にご利用ください。

また、いつか皆さんも検察審査員に選ばれることがあるかもしれませんが、そのときは国民の代表としてこの仕事にご協力ください。

くわしくは、高田検察審査会事務局（新潟地方裁判所高田支部内）へお問い合わせください。
☎〇二五五―二四一五一六〇

国の教育ローンをご利用ください

▼融資額

学生・生徒一人につき一五〇万円以内

▼使いみち

入学時の費用や在学中の費用（授業料・下宿代・通学費など）

▼利用できる方

大学・短大・高校・高専・専修学校・各種学校・予備校などに入学・在学される学生・生徒の保護者

▼利率

四・六%

（十一月から下がりました）

▼返済期間

八年以内

（据置は在学期間内、ただし最長四年以内）

くわしくは、国民金融公庫高田支店へお問い合わせください。
〒九四三
上越市大町三二二―一
☎〇二五五―二四一―三四〇

第二回ふるさとCM大賞作品募集中!

BSN新潟放送では、新潟県などの後援を受けて、ふるさとCM大賞の作品を募集しています。

あなたの作品が入賞すれば放送されますので、ビデオに興味のある方は応募してください。

▼作品

ハミロビデオかVHSビデオで、六〇秒以内・三〇秒以内・一五秒以内のいずれか

▼内容

県内各市町村の特長を表現しているもので、アマチュアの未発表作品に限ります。

▼募集期間

平成五年十一月末まで
▼応募先・問い合わせ先
〒九五―
新潟市川岸町八一―八
BSN新潟放送
ふるさとCM大賞係
☎〇二五―二六七―四二二

浦田牛丸焼きフェスティバルに参加しませんか

食欲の秋を飾るにふさわしい、浦田牛丸焼きフェスティバルが今年も行われます。

やわらかい和牛（浦田牛）が食べ放題で、肉好きの方にはうれしいイベントです。

また、特大の串に刺された牛

が、炭火でゆつくりと焼かれるところを見るのも楽しいかもしれません。

また、牛肉で満腹になったら体育館に併設されている風呂に入り、汗を流したあともう一回牛肉にチャレンジしてみませんか。

▼日時 十一月十四日（日）
午前十一時三十分から午後〇時三十分まで受付

▼会場 旧浦田中学校体育館
▼会費 一人三、〇〇〇円

格安な湯めぐりチケットをご利用ください

郡内六町村の温泉共通入場券が発売されました。

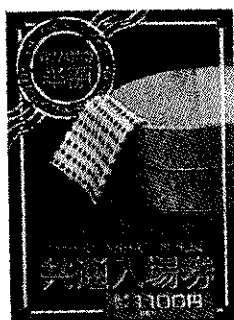
この共通券で、松代町の芝峠温泉、大島村のあさひ荘、浦川原村の霧ヶ岳温泉、安塚町のゆきだるま温泉、牧村の深山荘、湯本の温泉センターに一回ずつ入場できます。

共通入場券は一、一〇〇円で、

入場の際に各施設のフロントでスタンプを押してもらうてください。

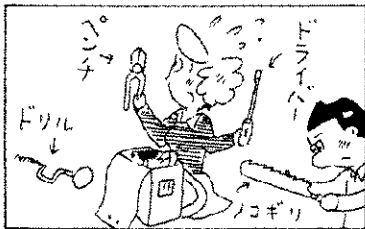
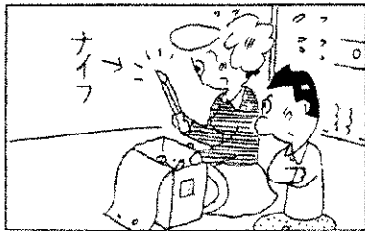
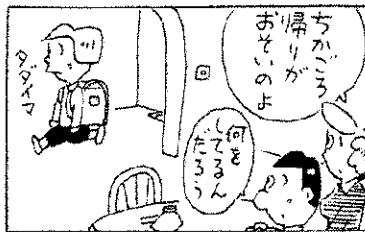
六つのスタンプがそろった入場券五枚で、記念品（特産品）がもらえます。

なお、共通入場券は各施設および役場の振興課で取り扱っています。



やわらか君

西村 宗



山村留学松之山学園収穫祭

山村留学松之山学園の7期生の皆さんによる収穫祭・バザーが、地区及び父母の協力を得て今年も盛大に開催されます。バザーでは、日用雑貨・文具・食器・衣類・食品などが超特価で販売される予定です。

また、山村留學生による太鼓や民舞の発表も行われます。おでん・甘酒・焼きそば・焼き鳥など、子供たちも十分楽しめますので、家族そろってご来場ください。

◎日 時 11月21日(日) 午前10時~12時

◎場 所 旧浦田中学校体育館

モチ米一握り運動にご協力を タオル一本

町婦人会では歳末助け合い運動の一環としてモチ米とタオルを集め、松之山町の方々が入所されている福祉施設に贈っています。

モチ米を贈られた施設では「モチつき大会」を行ったり、いくらあっても足りないタオルは大切に使われています。

今年も皆さまから善意をお寄せいただき、多くの施設にモチ米とタオルを贈りたいと思いますのでご協力をお願いします。

◎婦人会のある集落

例年通り役員が各戸をまわります。

◎婦人会のない集落

総代さん宅へ届けてください。

※11月26日までに集まるようお願いします。

俳句

南房終波頭ならべ打つ秋の雨
いま退きし波間にきゆる秋の雨
また訪うて見たき遺跡に秋の雨
宍越に館山城は秋雨の中
計報に我身にひきつる秋の雨

観音寺 滝沢 流石(丸久)

キャサリンさんの随筆コーナー

美しい秋

今、山腹は美しい秋の紅葉で覆われています。

松之山の景色も、夏のあの深緑の色からまばゆいオレンジ色、さらびやかな黄金色、そして濃い紅色などに衣替えしました。

ふと、通りすがりに目についたハセの稲、それがちょうどハワイのフラダンスを踊る娘さんたちが履くスカートのように見えました。

また、杉の木は高く雄々しくそびえ立っています。そして、道端にはコスモス

の花や、春に植えられた赤や黄金色の花が並び、秋の風にゆられています。

もうすぐ花や木は、きれいに着飾った衣を脱ぎ捨て、厚い雪の毛布に覆われます。

松之山も、秋の色から白一色に変わる時はもうすぐです。とにかく、今、秋のすがすがしい空気をいっぱい吸って、この美しい紅葉の秋を満喫したいものです。

このような美しい自然を、毎日鑑賞できることをとても嬉しく思います。



温泉定休日		
	温泉センター	翠の湯
11月	11日・25日	1日・15日 30日
12月	9日・24日	全 休

戸籍の窓

あめでだ(出生)

(生年月日)

藍海ちゃん 南雲 司・良子さんの二男
 西之前(仁太郎) 5・9・27
 明日歌ちゃん 関谷敏明・一美さんの三女
 松之山(町営住宅) 5・10・1
 縁人ちゃん 竹内恵次・民子さんの長男
 豊田(六善) 5・10・4
 正佳ちゃん 村山昭夫・晴美さんの長男
 湯本(坂中) 5・10・10

おくやみ(死亡)

(死亡年月日)

小野塚徳一さん 58歳
 上野池(天京) 5・10・2
 高橋センさん 75歳
 天水島(山根) 5・10・8
 渡辺市郎さん 59歳
 湯山(長松) 5・10・12
 佐藤喜代志さん 60歳
 天水越(七兵衛) 5・10・12
 柳 重次さん 79歳
 不老閣 5・10・23
 丸山正司さん 89歳
 曾根(源次郎) 5・10・26

※10月1日から31日までの届出分です。

ぼくの絵 わたしの絵 松之山保育所



りす組

おおみこうじくん

(松之山 町営住宅)



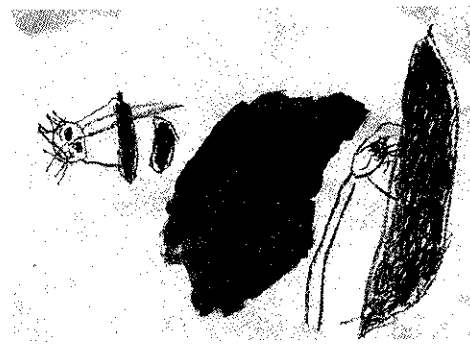
みんなでおかいものにいくところ



りす組

あいざわともひろくん

(松之山 尾張屋)



いもほり「でっけえ、いもあったぞ」

9日 ニコニコ教室
 8日 リハビリ教室(合同)
 25日 緊急地すべり防止工事竣
 24日 親子自然体験教室
 13日 福祉計画メデイカル会議
 12日 ニコニコ教室
 11日 親子自然体験教室
 10日 緊急地すべり防止工事竣
 9日 ニコニコ教室

31日 農業祭・芸能祭
 30日 美術展(11月1日まで)
 26日 町長杯バレーボール大会
 25日 農業委員会総会
 19日 消防分団長等会議
 17日 安吾まつり
 16日 民生委員協議会
 15日 もみじマラソン
 13日 松之山治山事業所開所30周年式典

12日 きのこ狩り大会(17日有)
 11日 農作物異常気象対策会議
 10日 健康マラソン
 9日 町駅伝大会
 8日 特別免許更新

7日 きのこ狩り大会(17日有)
 6日 農作物異常気象対策会議
 5日 松之山治山事業所開所30周年式典
 4日 民生委員協議会
 3日 もみじマラソン
 2日 安吾まつり
 1日 消防分団長等会議

12日 きのこ狩り大会(17日有)
 11日 農作物異常気象対策会議
 10日 健康マラソン
 9日 町駅伝大会
 8日 特別免許更新

7日 きのこ狩り大会(17日有)
 6日 農作物異常気象対策会議
 5日 松之山治山事業所開所30周年式典
 4日 民生委員協議会
 3日 もみじマラソン
 2日 安吾まつり
 1日 消防分団長等会議

こよみ



編集後記

十一月に入ってからおだやかな日が続いています。
 この天候が、稲にとって一番大事な七月・八月に続いていた
 らと思います。

松之山町の作況指数は戦後最
 悪の六四で、標高や品種で作柄
 に大きな差がでました。

また、越冬用の野菜の生育も
 悪く、農業祭の野菜の即売コー
 ナーは終日混雑していました。
 さて、長期予報では今冬は暖
 冬少雪だそうです。

ハズレてばかりいる気象庁の
 予報も、たまには当たってほしい
 ですね。

佐藤

十一月一日の人口
 総人口/三、六四七(▲八)

男/一、七八〇(▲五)
 女/一、八六七(▲三)
 世帯数/一、一七六(▲四)

(一)内は十月一日との比較
 ▲は減

広報まつのやま十一月号
 平成五年十一月十日発行
 発行/新潟県松之山町
 電話/三三九一六・三三九一
 FAX/三三九一六・三三九五
 編集/総務課